



オーブンをしたい考えた。

腰を上げた」と出店の経緯を説明。「何とか釧路市中心部

行した。

表彰者は次の通り。

式典で宮原会長は「地域の▽歴代会長 運上欽也▽同副 〃の伝達式が19日、町役

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

□上□

5年まで連続入選し、07年から09まで再び入選。今年第65回展では「脱皮」をテーマにした作品「tomorrow」で初入賞を果たした。05年から釧路市郷土作家展に出展している。

彫塑の魅力伝えた

「悩んでこれが最後と出して出品した春の全道展での受賞と、思ってもいなかった齊藤先生と同じ芸術賞受賞は、彫刻を始めたのは40歳のころ。長女が齊藤一明さん（故人、第1回釧新郷土芸術賞受賞）の絵画教室に通っていたことから、齊藤さんと知り合い、その人間的な魅力にひかれたのがきっかけという。はじめは齊藤さんが講師を務める市の文化講座に通い、その後同講座OB

齊藤さんの指導受け

らでつくる彫塑グループ「黄土の会」で齊藤さんの指導を受けた。

1997年、出品2回目の釧路市民展で市民展賞。釧美展では同年初出品で奨励賞を受賞、2000年に会友、02年に会員。また全道展では、1998年の初出品以200

自分の心情を大切に

のけて粘土が自ら意識を持つて存在してくる過程」と言い、「その時の自分の心情」をテーマに女性の姿を借りた作品を作り続けている。齊藤さんからは「一人が人であることを

「彫刻の一番の魅力は、何もないところから空気を押し

「悩んでこれが最後と出して出品した春の全道展での受賞と、思ってもいなかった齊藤先生と同じ芸術賞受賞は、彫刻を始めたのは40歳のころ。長女が齊藤一明さん（故人、第1回釧新郷土芸術賞受賞）の絵画教室に通っていたことから、齊藤さんと知り合い、その人間的な魅力にひかれたのがきっかけという。はじめは齊藤さんが講師を務める市の文化講座に通い、その後同講座OB

彫 小原 俊哉さん(56)

塑

(釧路市)

1997年、出品2回目の釧路市民展で市民展賞。釧美展では同年初出品で奨励賞を受賞、2000年に会友、02年に会員。また全道展では、1998年の初出品以200

財団法人釧新教育芸術振興基金（春日井茂理事長）は2010年度第39回「釧新郷土芸術賞」の受賞者を決定した。今年度の受賞者は、彫塑の小原俊哉さん(56)＝釧路市＝、バレエの早坂祥子さん(29)＝同＝。特別賞は作曲の二橋潤一さん(60)＝岩見沢市＝。受賞者の横顔を紹介する。